
【イナズマイレブン】天才と言われし、星のストライカーは...暗黒少女となった ㊄

魔歩

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

【イナズマイレブン】天才と言われし、星のストライカーは…暗黒少女となった シ

【Nコード】

N8538Y

【作者名】

魔歩

【あらすじ】

とある学校に…サッカーを愛する少女がいました。

その少女はサッカーが大好きで寝ても起きても『サッカー、サッカー』と口にするほどのサッカーが大好きでした。

その少女が中学に入るとすぐにマスターランクチームのキャプテンに承認されました。

その女の子はチームの為に沢山貢献していました。

そしてその女の子には大切な弟がいましたー…。

その時、父親から虐待を受けられ、母親・弟と一緒に乗り越えていました。

ですが…ある日、帝国学園・監督がその女の子の前に現れました。

その日は女の子に取って、大切な日でした。

決勝戦で母も休日で弟と見に行くと張り切っていました。

ですが…帝国への勧誘を断った女の子は…大切な弟を何者かによって暗殺されました…。

少女にとってはとても辛い出来事で、父親からの虐待がエスカレートをし、耐えられなくなった母親は、少女とともに家出をしました。

ですが、心にある傷はまだ…癒えないままでした。

設定

設定

海老原 梨菜

一躍有名となった星のストライカー

転校生として雷門中学校に。

（黒髪？サイドテール）（緑色の瞳、右腕には弟から貰った星柄のリストバンドをいつもつけている）

家族構成は、父親（離婚）に母親、弟の優希（他界）。

今では二人ぐらし。

小学6年の二学期から父親の虐待が始まり、パチンコとかでお金を自由放題に使用し、帰宅しては暴力ばかりを振るっていた。

成績優秀で幼い頃からサッカー選手に憧れ、夢はチームの主将だった。

そんな夢が叶い、前までいた学校では圧倒的な実力持ちの努力家で、一年生ながらもマスターランクチームのキャプテンを務めた。

そしていろんな試合に出ては必ず優勝していた事から「星の女神様」と言われていた。

だがある日、帝国学園の総師と名乗る者が現れ、莫大な金を利用して「帝国学園に来ないか？」とスカウトされるものの、断る。

だがそれを聞いていた父親からの暴力が増した。

そして数日後、弟が何者かによって殺され、もしかしたら自分のせいで殺されたのではないかと、思っていた時、父親に首を絞め

られては殺されそうになった所、母親に助けられ、離婚（家出）をする。

弟 海老原優希

何者かによって殺害され、他界。

自分の姉を誇りに思い、誰よりも姉の事を心配していた。

母・稲妻総合病院の看護師として働いている。

梨菜がまたサッカーに専念して欲しいと願っている。

雷門中学校

【朝：06：30】

今日から雷門に通うのか…。

ここからだ結構遠いんだよね…。

と、そんな事を思いながら私は制服に着替えていた。

着替えていた途中、お母さんが部屋に入ってきた。

お母さん：「あら、もう起きてるみたいね^^
夢みたいね。こうして二人で暮らせるなんて」

と、言いながら私が寝ていたベッドに座った。

お母さんはお父さんと離婚して凄く幸せそうだった。

それに新車も購入したみたいだし…私にもワークマンとか色々買ってくれたし…。

梨菜：「そうだね…。お母さん、仕事決まった？」

お母さん：「ええ！！なんとね！！…って、早く降りてきなさい！！
そしたら言っわ^^早く朝食を済ませないとね」

と、言いながら下りていった。

私はタンスの片方のドアを閉める前、優希から貰ったハート型の鏡を見た。

梨菜：「…優希…私、行ってくるね」

「1Fにて」

お母さん：「そうそう！！私ね、稲妻総合病院で働く事にしたの。
前も病院で働いてたでしょう？それでこっちでも働こうとしたの^^
ここからは、遠いけどね…」

梨菜：「その為に車を買ったんだね…納得」

お母さん：「ええ^^それとね、月曜日と水曜日と金曜日は送り迎えが出来るのよ」

と、私がミルクココアを飲もうとしたときお母さんの話を聞いて詰まらせた。

梨菜：「はあっ?!送り迎え!!?」

お母さん：「ええ。そうよ」(、、)

お母さん：「幸せすぎ!!!!」

(IN：学校、クラスにて：飛ばしてすみません><)

先生：「ええー、新しく入った海老原さんです。前いた学校は手羽中ですよね?」

梨菜：「はい」

先生：「という事です。席は…豪炎寺君の隣だね。」

豪炎寺って…木戸川の豪炎寺??

そう思ってた時、豪炎寺って人がこっちを見てきた。

私はそのまま一番後ろに行き、一応自己紹介とかがして座った。

IN 休み時間

? : 「ねえ！海老原さん！！」

梨菜 : 「はい？」

秋 : 「私、木野秋。秋って呼んで^^ 私も梨菜で良いよね？」

梨菜 : 「…うん。全然大丈夫だよ^^」

秋 : 「良かったー。あ！それと、私、サッカー部のマネージャーなの」

サッカー部?…ああ…確かあったね…。

弱小サッカー部って事で、手羽中でもそんな噂があったね…。

と、思いながら秋の話を聞いていた。

秋：「梨菜もサッカー好き？」

梨菜：「私は…その…好きって言うか…」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8538y/>

【イナズマイレブン】天才と言われし、星のストライカーは...暗黒少女となっ

2011年11月25日17時48分発行